

趣ある雰囲気の中で開催された パネルディスカッションでは、 札幌の芸術・文化への熱い思いがあふれる 話し合いが繰り広げられました。

- ■日時/7月25日(水)午後6時30分~8時45分
- ■会場/時計台 ■参加総数/約160人

ゅう はか じま よう 映画館経営 中島 洋さん



札幌には、文化を愛し、文化を担っている人がたくさんいます。市は、これらの人をもっと活用し、共にまちづくりを進めてほしいです。

詩人 原子 修改ん

大通公園を文化ゾーンとして、もっと市民の芸術・文化活動に開放すべきです。

舞踏家 千田 雅子さん

札幌には舞踏向きの会場や活動場所が無いため、 育ったバレリーナは、皆外に出て行ってしまいます。 ぜひ劇場を造ってください。



このページについてのお問い合わせは、市民の声を聞く課**ぐ211-2042**へ。 内容は、市長のホームページ

www.city.sapporo.jp/city/mayorからもご覧いただけます。





市役所や区役所に芸術作品を置くなどして、もっと札幌の芸術家を支援してほしいです。

シンガーソングライター **いなむら 一志**さん

平和の大切さについて一人一人が改めて考え、 行動を起こしてほしいと思います。

写真家 佐藤 雅英さん

海外のテレビコマーシャルなどの 映像を利用して、もっと多くの国 に札幌の魅力を発信するべきです。



工業デザイナー 松村 耕一さん

東京から進出したお店が多くて、都心の魅力が無くなってきている今、札幌らしい商品をそろえた専門店を都心に増やすべきです。



札幌の芸術・文化について、さまざまなご意見をいただき、うれしく思います。都心についてのお話がいくつかありましたが、駅前通地下歩行空間整備、創成川通アンダーパス連続化により、札幌の都心は生まれ変わろうとしています。例えば、創成川通には、大通公園規模の緑地ができる予定ですが、そこを芸術・文化活動に開放することもできるかもしれませんね。市民の皆さんも一緒に考えながら、新しい都心をつくっていきましょう。



アイヌ民族の伝統楽器、トンコリ・ムックリの 演奏のほか、詩の朗読なども披露されました